資料4 令和5年度 あま市地域懇談会 結果概要

1. 開催概要

的:地域福祉の課題の意見集約と課題解決のアイディアを具体化し、地域福祉計画・地域福祉活動計画に反映させるために実施した。

日 時:令和5年6月10日(土)、17日(土)、24日(土) 午前9時30分から午前11時まで

参加者数:6月10日(土)26人、17日(土)25人、24日(土)25人 合計76人

# 2. 結果概要

# 各グループ共通の課題

#### 災害・防災

- ① 自主防災を活発に
- ② 避難所を明確に
- ③ 障がい者の避難計画ができ ていない・福祉避難所がな
- ④ 災害時、区域に置かれた状 況をいちはやく知らせるに はどうしていくのが良いか
- ⑤ 災害時に不安を抱える人へ の支援

# 介護・高齢化

- ① 一人で買い物に行く ことができない
- ② 支援が必要な高齢者 の方々が多く、本当 に支援が必要な方の サポートが不十分
- ③ 独り暮らしの人の支
- ④ 子どもと高齢者の方 が遊べること

# 課題解決のためのアイディア

# 災害・防災

- ① ・スクールガードなどを町内会などへ有償委託する。 ・地域によっては活発な内容で行われているところもあ るので、その方達に自主防災の役員にアドバイスの場を 設けてもらう。
- ② ・町内で回覧板での発信。
  - ・避難体験会(例:避難所に一泊してみよう)
- ・行政、福祉防災専門家、当事者で話し合う場を作る。
- ・区できずなネットを入れて情報網をつくろうとしてい るが、加入が進まない。お金がかかる。
- ・行政は、実態を知るために当事者(色々な障がいの人 達の) ヒアリングをしてほしい。
  - ・市防災会議に障がい者の方も参加するべき。

## 介護・高齢化

- ① ・伊福地区ではボランティアが同行するとか、かわりに 買い物するとか実施している。他の地区でも実施。
- ② ・高齢者の多い地域は民生委員の数を増やし、担当人数 を減らす。
- ③ ・(移動手段) 高齢者の足の確保に対する地域の人によ る活動の奨励。補助金の支給を考えてほしい。
- ④ 子ども食堂に高齢者も同時に招待して昔話などしてほ しい。

# Aグループ

# 【近所付き合いの希薄】

- ① 近所付き合いが少なくなってきた・近所の方の名前と顔 がわからない
- ② 世代間の交流が少ないように思える
- ③ 健常者と障がい者の交流の場

#### 【人材確保】

- ① ボランティアグループ内の人数が減っている
- ② 障がいを持つ親へのサポートが不足(情報不足)

# 【情報】

- ① ほしい情報の取り方がわからない
- ② SNS等、デジタルの推進が図られているが、高齢者が 追いついていけない現状がある

#### 【教育】

- ① 不登校の増加(低年齢化)
- ② 学生が家以外で勉強できる場がない

# 課題解決のためのアイディア



# 【近所付き合いの希薄】

- ① ・あいさつの励行。声をかけあう習慣をつける。
  - ・町内会の案内などの際に、近所を紹介する。
- ② ・各世代を入れて出来るスポーツを取り入れる。
- ③ ・市役所を中心に障者が地域に出られる機会を作る。 例:市役所での物販や地域事業の一部を障がい者施設 へ委託するなど。

#### 【人材確保】

- ・広報を充実する。どんなボランティアがあるのか、 どんなボランティアを必要としているのか、それがわ かる場所を知らせる。
- ② ・市役所・社協が民間の支援団体と連携する。

#### 【情報】

- ① ・役所も含め、わかりやすいHP作りや情報提供。
- ② ・スマホ等の教室や地域の掲示板に情報を貼るなど、ア ナログな周知も必要

### 【教育】

- ① ・フリースクールや家でも遊べる仕組みがあってもいい のでは
- ・公共施設の空き室の利活用を考えてはどうか。

# Bグループ

各グループ個別の課題

# ① 障がい者(児)の病院受診のハードルが高い

開催場所:あま市役所

- ② 必要な支援が障がいの種別によって受けられない事が ある(オムツ・車いす等)
- ③ 支援級の指導 学校によって、先生によって差がある 【子育て】
- ① 引きこもりの方の対処

【障がい】

② 公園が機能していない

### 【ボランティア・情報入手】

- ① ボランティアに参加してくれる方が少ない
- ② 困った時に相談できる場所がわからない

## Cグループ

#### 【学校】

- ① 学齢の不登校が増えていること
- ② その他

# 【子ども】

- ① 子育て世代のサポート
- ② 医療的ケア児への支援がないこと
- ③ 大人のサロンは多いが子どものサロン

# 【外国人】

- ① 外国人への支援(壁がある)
- ② 外国人への災害時の避難行動支援

# 【ボランティア】

① 貸館 安くしてほしい



- ① ・配慮していただける病院に対してステッカーなどわ かりやすい表示をしてもらう。
  - ・地域の病院の方々に障がい特性を学んでいただき、受 診時間の配慮など受け入れ体制を考える。
- 支援の対象を広げる。 (障がいの名前ではなく実際の困りごとに対しての
- ・支援級の先生が同じように指導出来るよう、先生方を 指導する場、機会を設ける。

#### 【子育て】

【障がい】

- ① ・フリースクールなど学校以外の居場所を作る。それに 対する予算をつける。
- ・公園の整備、草むしり、遊具、日陰、安全性。
- ・中央公園を作る。健常者、障がい者も利用できる公園。 【ボランティア・情報入手】
- ① ・ボランティアという言葉はハードルが高いので、「~ をしてくれる方募集」というようなハードルを下げた 文句で地域の掲示板等(皆さんの目にとまる所)を活 用する。
- ② ・まずはここに相談するという窓口を作り、そこから担 当課へつなげる。

- ① ・スクールサポーターがいるが知識のない人がい る。一定の知識(レベルUPを)
- ② ・支援員を増やす。3限で帰ってしまう。最後まで いてほしい。

# 【子ども】

- ① ・子育て世代の孤立をさせない交流を。こどもまつ りの企画をしては。
- ② ・行政へ個人情報で片づけず地域に発信して助けて くれる人を見つけてほしい。(国の方針は義務)
  - ・交流会を作り、専門家がサポートして支援を広げ てゆく。
- ③ ・子どものサロンを作る。(土・日月1回) 行政のサ ポートと高齢者で。
  - ・大人のサロンに幼児も参加する会をつくる。

#### 【外国人】

- ① ・コミュニティをさがしてアプローチをしてい
- ② ・学校から地域防災訓練のお知らせを配布してもら う。

#### 【ボランティア】

① ・コミュニティ等施設利用の制約条件が多い。も っと気安く使える様にする。(料金・用途)

#### 3. 参加者アンケート(一部抜粋)

#### 地域懇談会の感想

- ・いろんな人、関わりの人、詳しい人が集まり意見が聞けたので有意義でした。
- ・多種多様なご意見がでて、それぞれの解決策の目安がついたよい機会だったと思います。 今後もこういった集まりを持続されるのを期待します。
- ・色々な方の意見を聞いて考えさせられる事が多かったです。知らない情報を知る事が出来 て良かったです。

#### あま市地域福祉計画・あま市社会福祉協議会地域福祉活動計画に期待すること

- ・ひとつでも実現してほしい、問題提起について「どうしたか、どうなったか」知りたい
- ・各グループ、全ての意見を発表出来ていないと思うので、全ての意見を吟味し、今後の計 画に役立てて欲しいです。
- ・たくさんの課題があると思いますが、1つずつでも良いのでとにかく実現させてください。
- ・今回の団体の意見を真剣に考えていただきたい(3日間の参加をむだにしない)